

本シリーズでは、主として現役時代（積水化学工業（株））に展開・検討した知財マインドアップに関する取組みについて紹介します。

1. 社内知財教育の全体像

- ①入社からの時系列に応じた全7科目を展開
- ②教材・講師・展開方法など



2. 発明の捉え方



3. 国内外特許権利化活動の全体



4. 取れる特許より取りたい特許 [排他性強化活動]

競合他社が嫌がる特許を作り上げるための全社的活動、など



5. 共同出願 & 特許保証要求への対応

- ①共同出願に内在する問題点（第三者からの購入制限や第三者販売など）の紹介
- ②特許保証要求に対する条件交渉の紹介



6. 全社展開できる『見える知財活動』の一例紹介

Pバッジ活動の紹介（技術屋なら持っていないと恥ずかしいという文化の醸成）



7. ホントに大事なのは、知識教育よりも知財アラートリテラシーの醸成

事業・開発責任者からの的確な『知財アラート』こそが全社知財マインド向上の根源